

記入例

【別表2】 (令和5年度) 香川株式会社 丸亀工場 (※ 小豆島工場、高松本社の記載例は省略)

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
原油 (コンデンセートを除く。)		kl			kl			
原油のうちコンデンセート (NGL)		kl			kl			
揮発油 (ガソリン)					kl			
ナフサ								
灯油	22.5	kl					21	56.3
軽油		kl						
A重油	1,423	kl	55				55	3,917.3
B・C重油	77	kl	3				19	238.4
石油アスファルト		t						
石油コークス								
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		262					
	石油系炭化水素ガス		千m ³					
可燃性 天然ガス	液化天然ガス(LNG)							
	その他可燃性天然ガス		千m ³					
石炭	原料炭(輸入、コークス用、吹込用)							
	一般炭(輸入、国産)						6,734	600.0
	無煙炭							
石炭コークス								
コールタール		t			t			
コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
高炉ガス		千m ³			千m ³			
転炉ガス		千m ³			千m ³			
その他の 燃料								
小計 ①								5,596.5
都市ガス	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千m ³)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	数値 D	単位		数値 F	単位			
都市ガス		千m ³			千m ³			
小計 ②								
熱	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	数値 D	単位		数値 F	単位			
	産業用蒸気	30,500	GJ			GJ	30,500	1,994.7
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ		
	温水	8,990	GJ			GJ	8,990	512.4
冷水		GJ			GJ			
小計 ③								2,507.1

各エネルギー使用量を、原則として排出係数の有効桁数以上の有効桁数で記入してください。

発熱量を見直しています(別表1参照)。

排出係数を見直しています(別表3参照)。
二酸化炭素排出量を、原則として排出係数の有効桁数以上の有効桁数で記入してください。

ガス会社からの使用量が“m³(立方メートル)”で表示されている場合、“t(トン)”に換算する必要があります。換算係数は、ガス会社により異なりますので、ガス会社に確認の上、換算します。不明な場合は、以下の数値を用いることができます。

プロパン	1m ³	1/502[t]
ブタン	1m ³	1/355[t]
プロパン・ブタンの混合	1m ³	1/458[t]

省エネ法改正により見直し
記入の際には、該当する名称に変更できます。その際、エネルギーの種類ごとに該当する熱量と排出係数を選定してください。
複数該当する場合は、「その他の燃料」の欄をご利用ください。

都市ガスの計算方法を見直しています。

エネルギーの種類		数値 D	単位	数値 F	単位	H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	8,421	千 kWh		8,421	3,115.8
		夜間買電	1,168	千 kWh		1,168	432.2
	その他	上記以外の買電		千 kWh			
		自家発電	(2,625)	千 kWh			
小計 ④							3,547.9
合計 (t-CO ₂) ⑤=①+②+③+④							11,651.5

「昼間買電」には8時から22時までに使用した電力量を、「夜間買電」には22時から翌日8時までに使用した電力量を記載します。なお、昼夜間の区別ができない場合は、すべての使用量を昼間の使用量として計上します。

電気事業者・排出係数 (t-CO₂/kWh) : 四国電力 (株) 0.000370

原則、基礎排出係数を使用してください。